

平成24年度職員満足度調査（全市版集計結果）

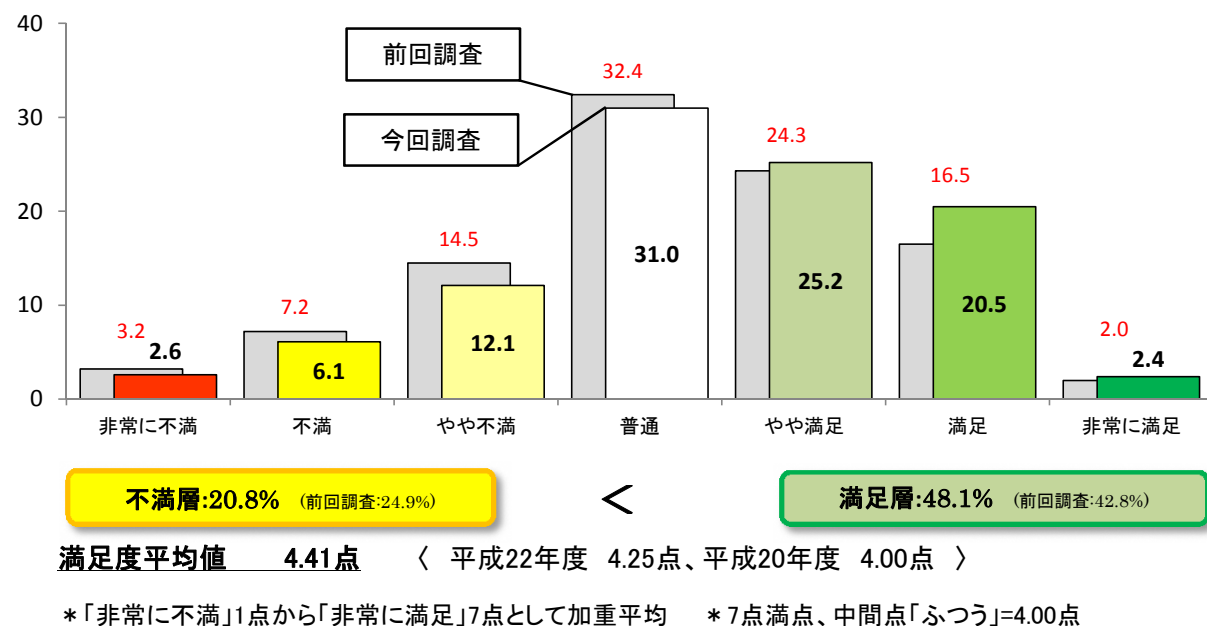
1 調査概要

- 調査期間：平成24年8月27日～9月21日
- 調査対象：嘱託員・再任用職員を含む全職員(22,848名)
* 企業局(水道局・交通局・病院経営局)職員及び市立小・中学校、高校の教職員を除く。
- 回答率：88.3% 回答者数(20,176名)(前回:85.7%、19,542名)

2 総合満足度

- 7点満点中4.41点(中間点:4点)で、前回調査(平成22年度)の4.25点と比較し、0.16点のプラスとなっている。
- 満足層と不満層を比較すると、満足層は48.1%(前回比5.3ポイント増)で、不満層の20.8%(前回比4.1ポイント減)を27.3ポイント上回っている。また、「非常に満足」と答えた者2.4%(468名)と比較して、「非常に不満」と答えた者2.6%(503名)の割合は、前回調査より改善し、ほぼ均衡している状態となっている。
- 今後の総合満足度向上にあたり、「普通」と答えた者が31.0%と最も多く、この層を満足層に引き上げることが重要。

図表1. 総合満足度(%)
Q01.あなたは総合的に考えて、現在の仕事・職場・横浜市役所にどの程度満足していますか



3 個別満足度

- 5項目を除き、全般的に個別満足度は前回調査より向上している。
 - 前回調査を踏まえ、重点的に取り組んだ「人材育成」について、満足度が向上し、取組の成果がでてくる。一方で、「業務効率」については満足度が低下しており、引き続き取り組む必要がある。
- ・個別満足度が高いもの：「Q35.横浜市役所への勤続意向」、「Q03.職員としての誇り」、「Q06.上司との関係」
 - ・個別満足度が低いもの：「Q21.人事給与制度による意欲向上」、「Q27.職場の無駄な仕事・手続き」、「Q15.人事考課の人材育成効果」
 - ・前回から個別満足度が特に上がったもの：「Q24.休暇を取得しやすい環境」、「Q22.適性や能力を考慮した人事異動」、「Q07.市長・副市長の役割遂行」
 - ・前回から個別満足度が特に下がったもの：「Q34.横浜市での協働の増加」、「Q28.職場の事業・業務コスト意識」、「Q17.仕事のやり方の評価」

図表2. 個別満足度(%)

個別満足度は4点満点 中間点は2.50点 平均点は2.65点《赤数字：満足度中間点2.50点未満》
* Q26、Q27は逆設問の数値変換をしており、数値が高いほど項目の満足度は高い。
例えば、Q26では、数値が高いほど仕事上のストレスは少ない。

